

## 令和7年度 給食施設状況調査および栄養管理状況報告書の集計結果

### 1 目的

健康増進法第21条に基づき、給食施設は栄養管理を適切に行い、給食を通じて利用者の健康増進を推進する観点から、特定給食施設の設置者に栄養管理基準の遵守が義務付けられている。

県では、特定給食施設に対し適切な栄養管理について支援するため、福井県健康増進法施行細則第4条に基づき、栄養管理状況報告書の提出を求めている。また、その他の給食施設には、給食施設状況調査を行っている。

令和7年度に提出があった栄養管理状況報告書および給食施設状況調査票から、施設状況および栄養管理状況についてまとめたので、報告する。

### 2 調査時期

令和7年6月

### 3 集計項目

特定給食施設：栄養管理状況報告書（義務）

※施設区分によって報告書の様式が異なる。詳細はホームページを参照

その他の給食施設：給食施設状況調査票（任意）

### 4 提出状況

県内給食施設 ※施設区分は別紙1のとおり

(1) 特定給食施設：継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を供給する施設

施設区分	保健所							
	福井市	福井 (永平寺町)	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計
学校	55	4	30	14	50	20	15	188
病院	18	1	5	2	8	6	3	43
介護老人保健施設	9	0	4	2	7	4	1	27
介護医療院	1	0	0	0	0	0	0	1
老人福祉施設	19	3	8	5	12	7	3	57
児童福祉施設	61	5	25	5	38	13	8	155
社会福祉施設	2	0	1	2	4	0	0	9
事業所	0	0	0	0	1	3	0	4
寄宿舍	1	0	0	0	1	1	0	3
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	0	0	0	0	2
計	166	13	75	30	121	54	30	489

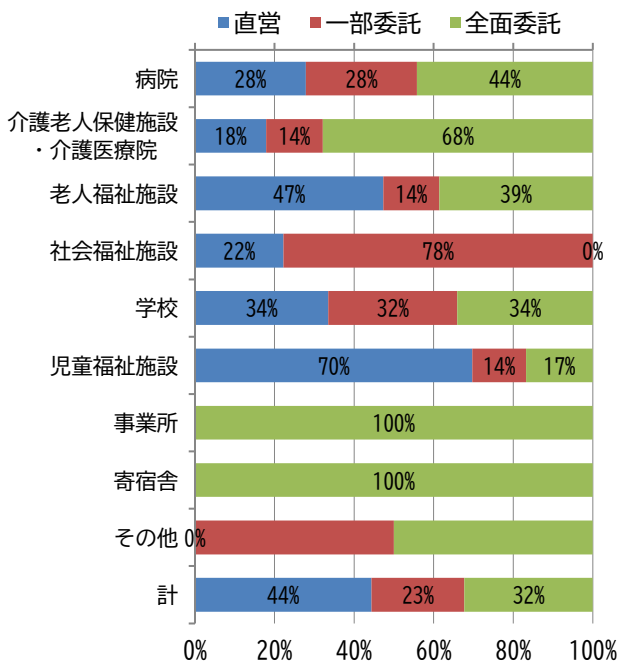
(2) その他の給食施設：継続的に1回20食以上または1日50食以上の食事を供給する施設

施設区分 \ 保健所	福井	福井 (永平寺町)	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計
学校	19	6	5	9	16	7	13	75
病院	9	0	2	4	7	0	1	23
介護老人保健施設	0	0	2	1	1	1	2	7
介護医療院	1	0	0	1	5	0	1	8
老人福祉施設	38	4	37	16	40	15	16	166
児童福祉施設	32	2	18	17	25	20	18	132
社会福祉施設	6	0	4	4	8	3	6	31
事業所	2	0	0	0	1	0	0	3
寄宿舍	1	0	2	0	1	2	4	10
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	32	1	10	6	15	5	9	78
計	140	13	80	58	120	53	70	534

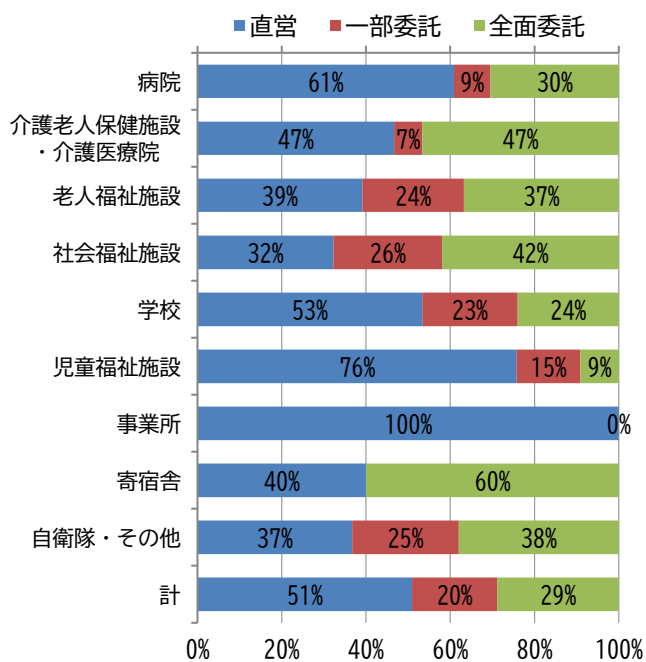
5 調査結果

(1) 給食の運営状況

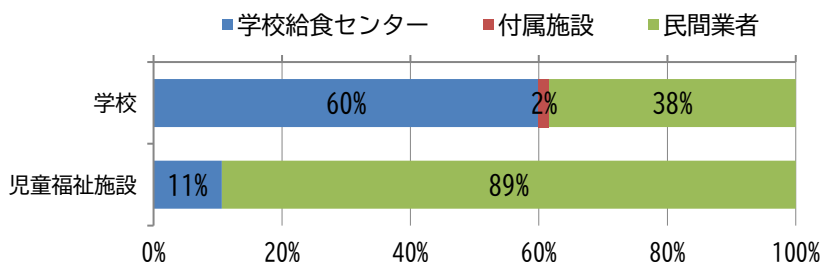
<特定給食施設>



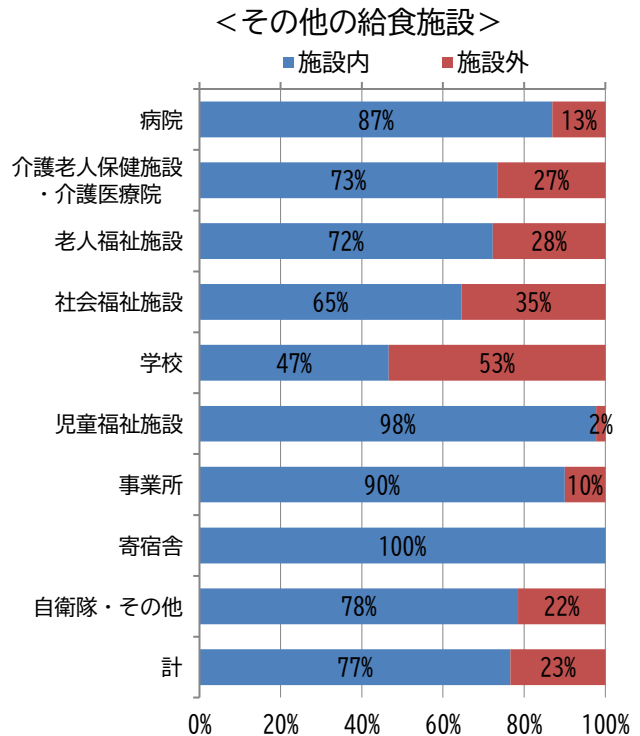
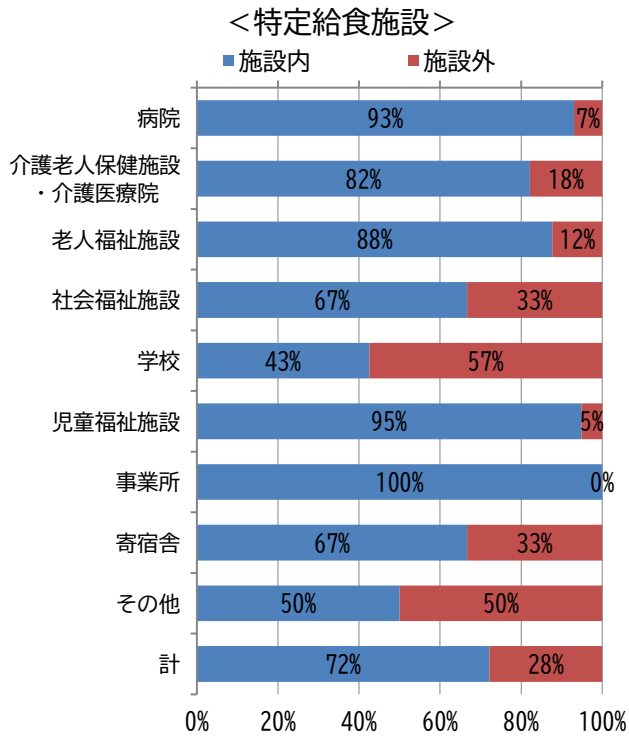
<その他の給食施設>



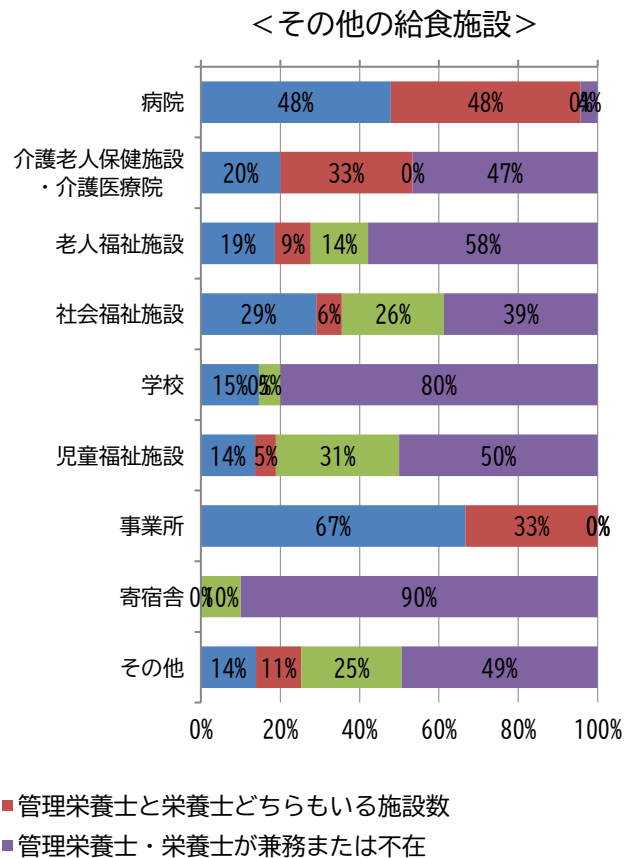
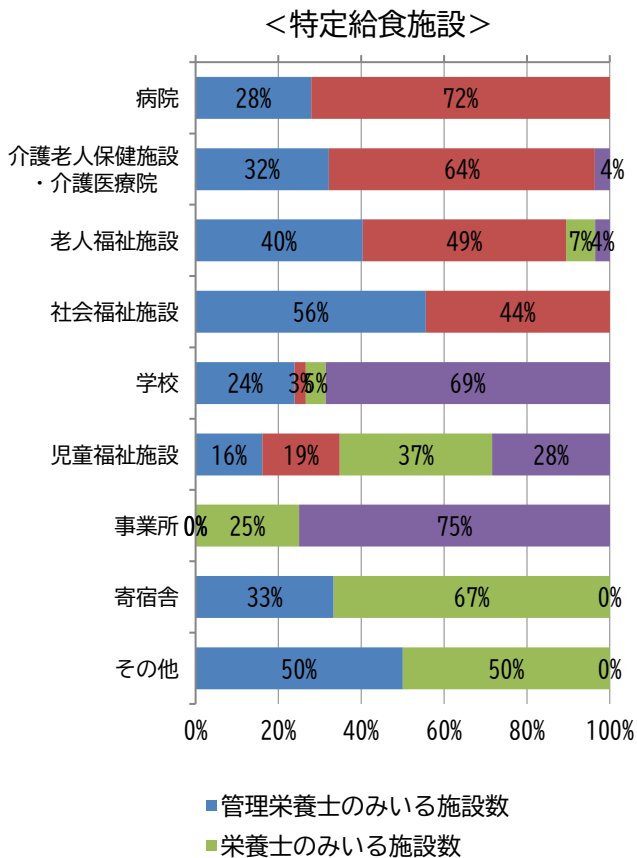
【学校・児童福祉施設の委託先 (特定給食施設)】



## (2) 調理場所



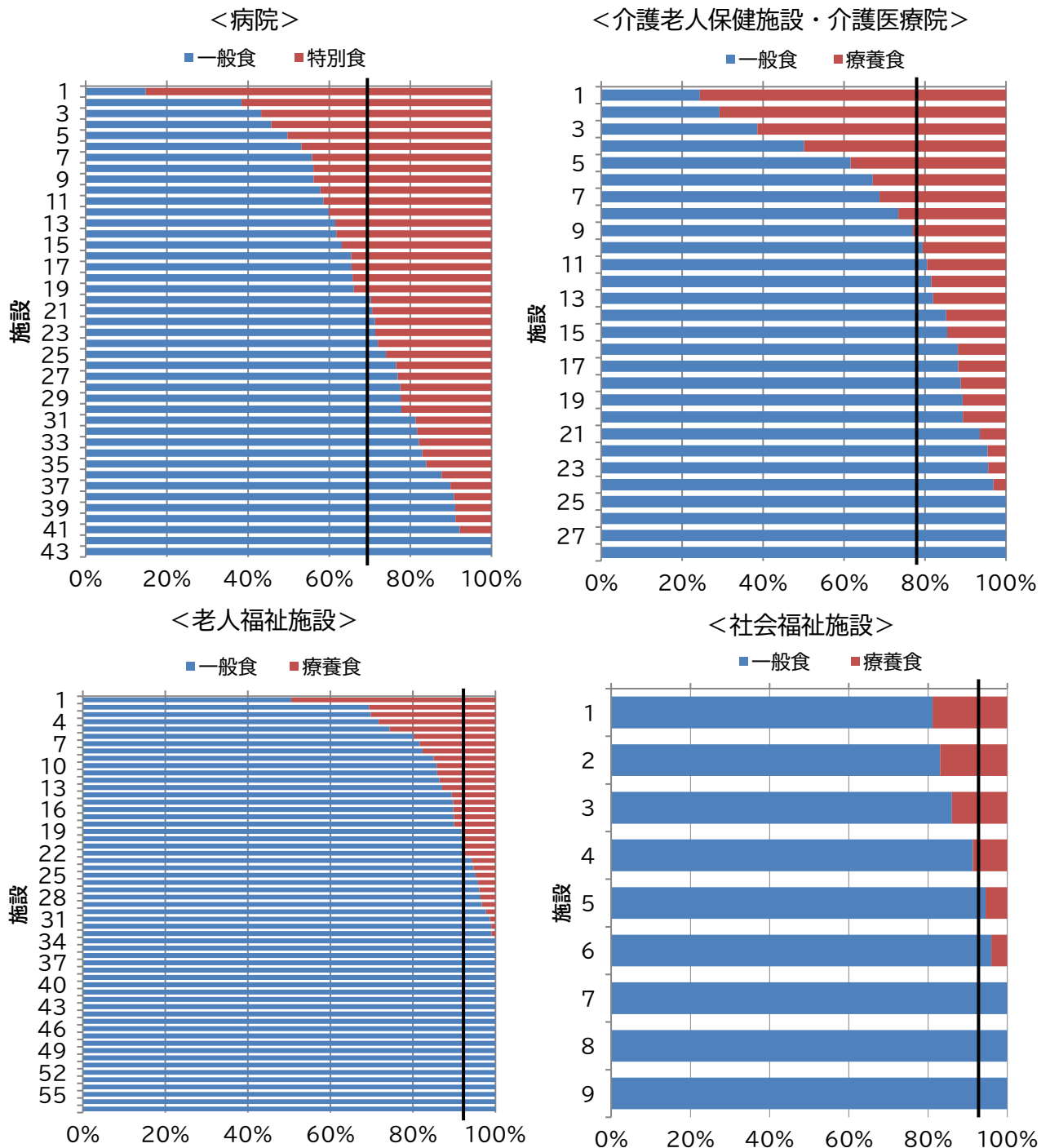
## (3) 管理栄養士・栄養士の配置状況



個別の栄養管理が主体となる施設（病院、介護老人保健施設・介護医療院、老人福祉施設、社会福祉施設）では管理栄養士・栄養士の配置率が高い。健康増進を目的とした施設（学校、児童福祉施設、事業所、寄宿舍）では兼務または不在の施設も多い。

(4) 特別食（療養食）の提供割合

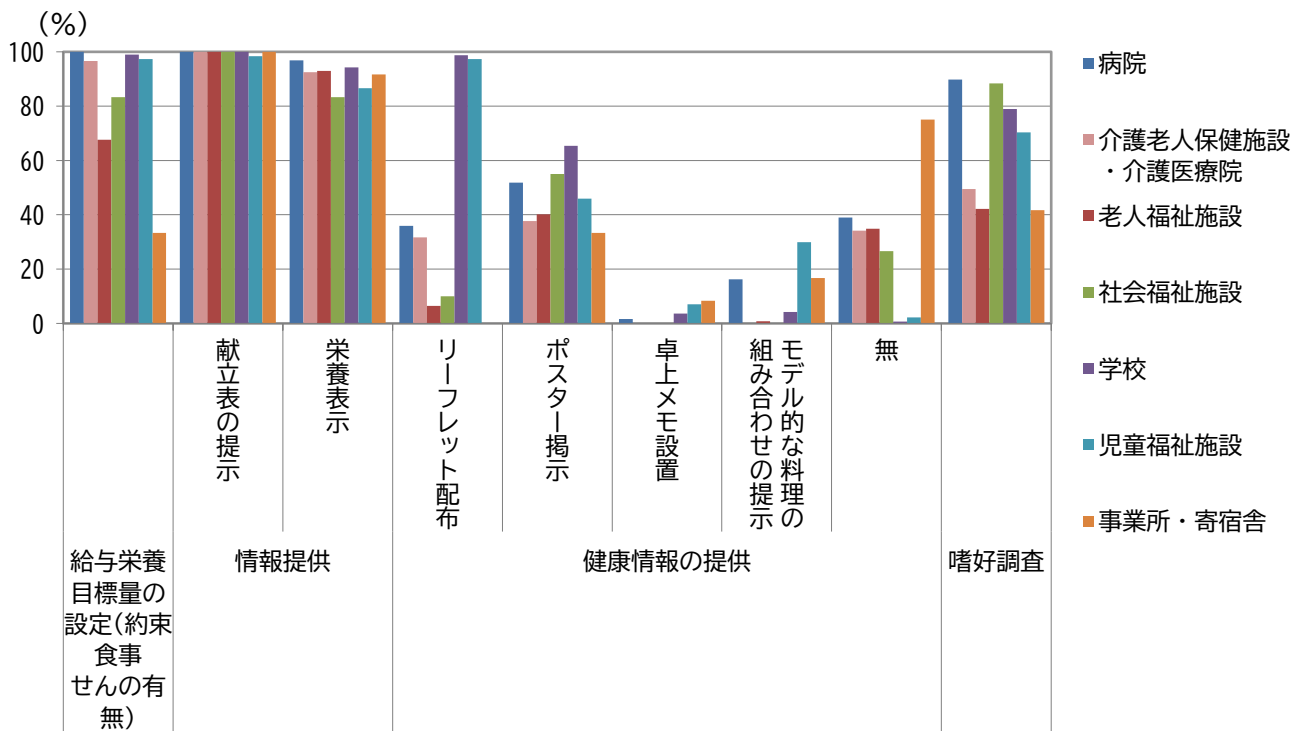
施設区分	提供割合	
	最大	平均
病院	85.2 %	30.0 %
介護老人保健施設・介護医療院	75.7 %	21.1 %
老人福祉施設	49.5 %	7.2 %
社会福祉施設	18.9 %	7.6 %



特別食（療養食）を必要とする入院患者（入所者）の割合にも影響を受けるが、病院や介護老人保健施設・介護医療院では、施設ごとで提供割合の差が大きい。老人福祉施設や社会福祉施設が療養食を提供する割合は、平均1割未満であった。

## (5) 集団的な食事管理

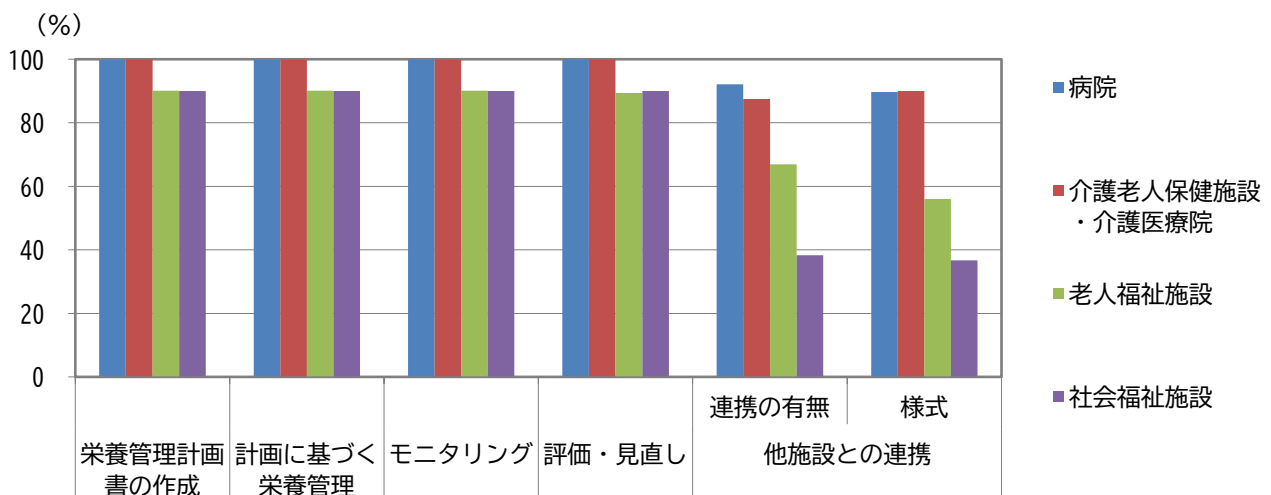
<特定給食施設：施設の種別別>



給与栄養目標量を設定している施設の割合は、老人福祉施設、寄宿舎・事業所において低かった。栄養成分表示の実施率は全ての施設区分で8割を超えていた。リーフレット配布の実施率は、学校や児童福祉施設において高く、ほとんどの施設で行われていた。嗜好調査の実施率は病院、社会福祉施設において高く、9割程度であった。

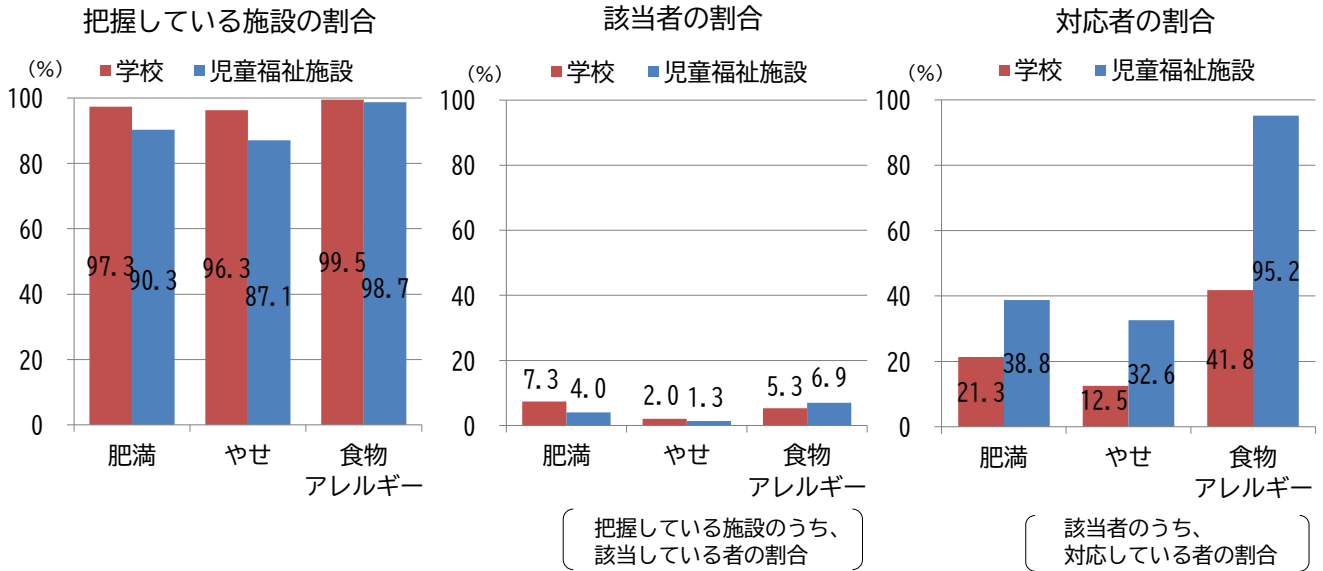
## (6) 個別の栄養管理

<特定給食施設：病院、介護老人保健施設・介護医療院、老人福祉施設、社会福祉施設>



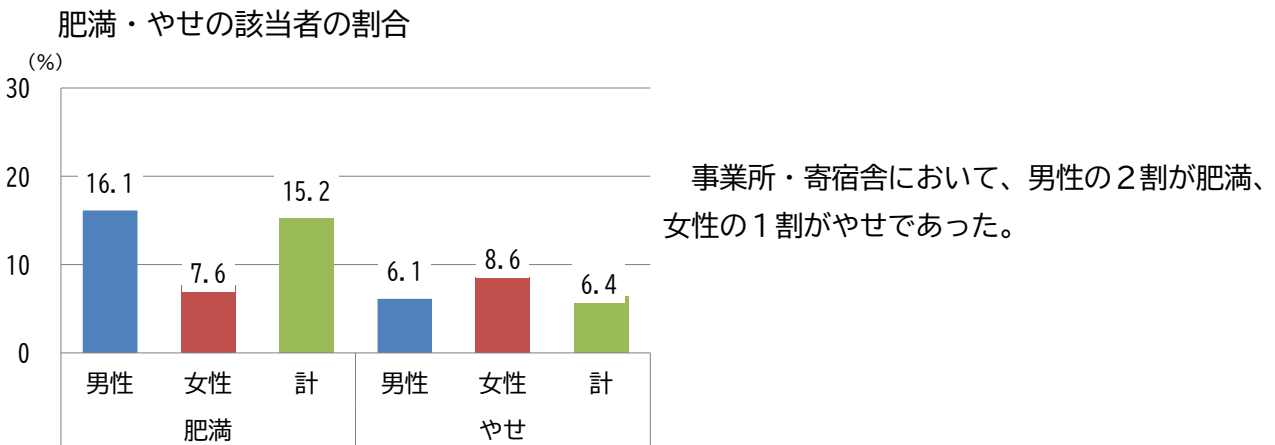
個別の栄養管理は、病院、介護老人保健施設・介護医療院において全ての施設で実施され、老人福祉施設、社会福祉施設において9割の施設で実施されていた。他施設との連携は、病院、介護老人保健施設・介護医療院は9割、老人福祉施設は7割、社会福祉施設は4割の施設で実施されていた。

<特定給食施設：学校、児童福祉施設>



肥満・やせ・食物アレルギーについて、学校ではほとんどの施設で把握していた。児童福祉施設では、食物アレルギーはほぼ全ての施設で把握しているが、肥満・やせの把握率は9割であった。その該当者に対し、給食や指導により対応を行っている割合は、肥満・やせは学校で1～2割、児童福祉施設で3～4割、食物アレルギーは学校で4割、児童福祉施設では9割以上だった。

<特定給食施設：事業所・寄宿舍>



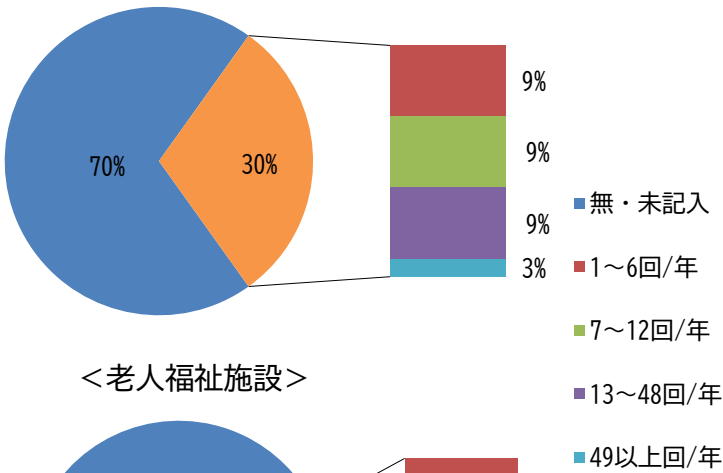
第5次元元気な福井の健康づくり応援計画では、健康寿命のさらなる延伸を目指し、給食を通じた利用者の栄養管理および健康づくりを推進しています。

学校、児童福祉施設、寄宿舍、事業所など健康増進を目的とする施設は、給食利用者の肥満・やせの状況を把握し、適切な栄養管理を進めましょう。

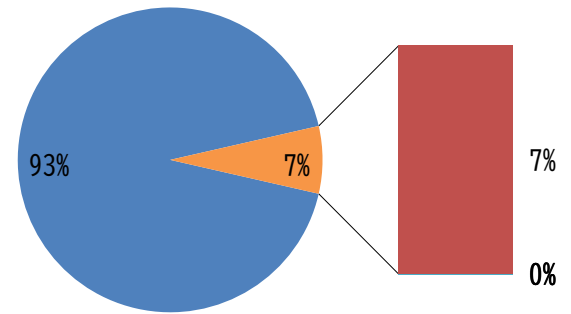
(7) 栄養教育

< 集団の栄養教育実施割合 >

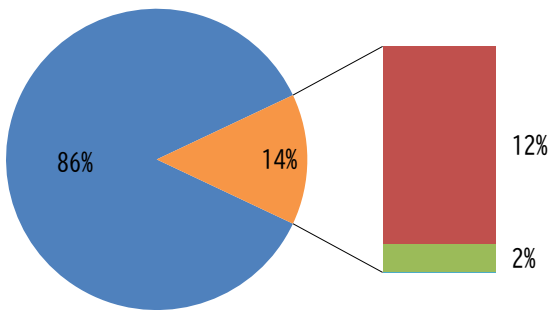
< 病院 >



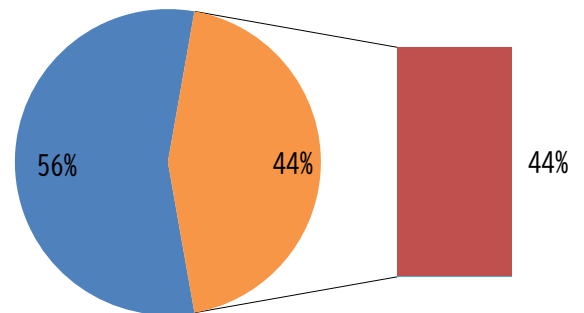
< 介護老人保健施設・介護医療院 >



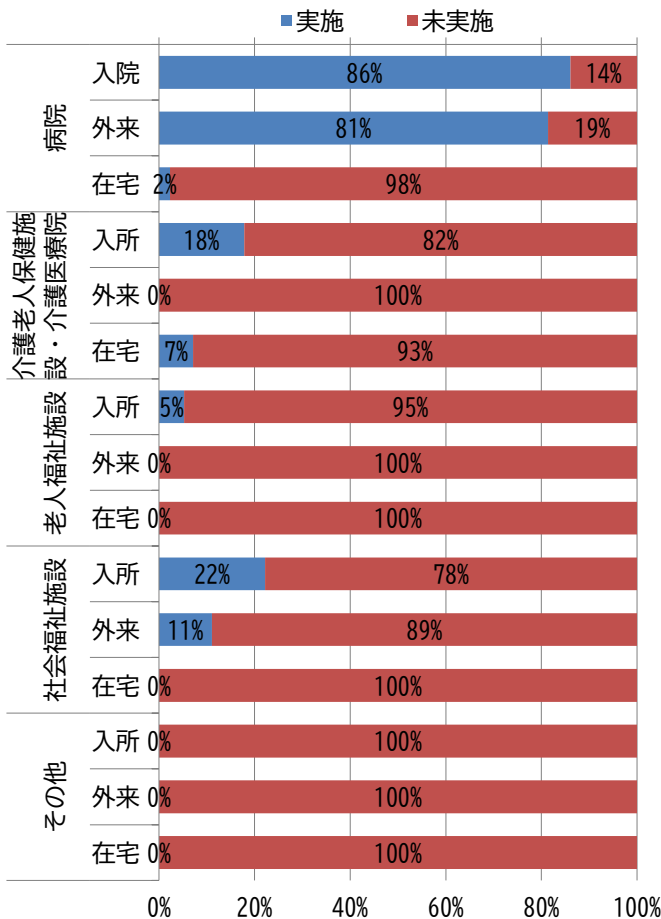
< 老人福祉施設 >



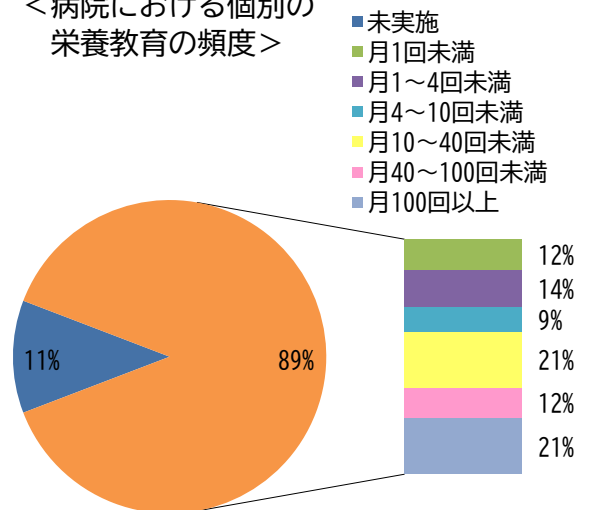
< 社会福祉施設 >



< 個別の栄養教育実施割合 >



< 病院における個別の栄養教育の頻度 >

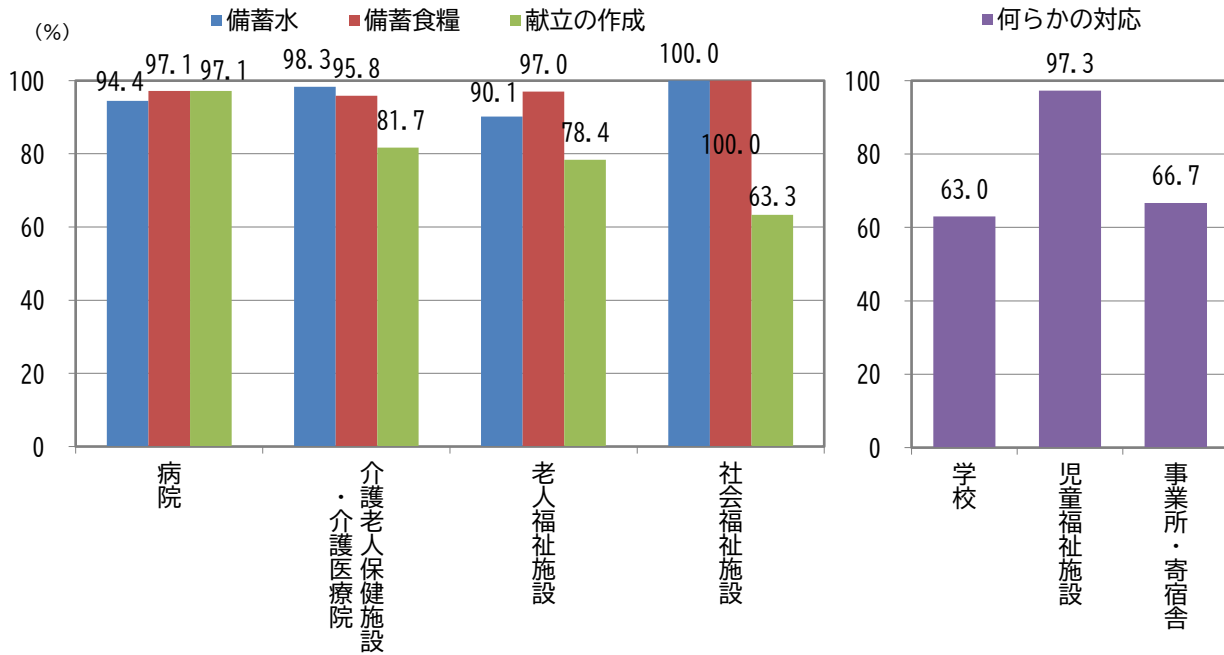


集団教育の実施割合は、社会福祉施設で4割、病院で3割、老人福祉施設で1割だった。

病院における個別教育は、入院・外来患者に対する実施割合は8～9割だったが、在宅患者に対する実施割合は低く、1割未満だった。

介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設における入所者への個別教育は、1～2割の実施割合だった。

### (8) 災害に備えた対応



病院や高齢者施設など3食提供している施設では、災害に備えて水や食料を備蓄している割合は9～10割であった。災害時の献立の作成割合は、病院でほぼ10割、介護老人保健施設・介護医療院、老人福祉施設で8割、社会福祉施設で6割だった。

また、学校や児童福祉施設、事業所・寄宿舎など健康増進を目的とした施設で、災害時に備えて何らかの対応をしている施設は、学校で6割、児童福祉施設でほぼ10割、事業所・寄宿舎で7割であった。

災害に備えた対応を行っている施設は、増加傾向である。